

## 7-8月プログラムのお知らせ・下

絵を描いたり、工作ができる「ばれたん動物園」は、企画展示室で開催中(7月15日～8月27日)。

## ○夏休みスペシャル 「どうぶつ手ぬぐい～象と白牛の物語～」

開催日 7月26日(水)・29日(土)、8月2日(水)・5日(土)・9日(水)・12日(土)



好きな動物を柄にしてみよう

時 間	午後1時～4時 (受付は3時まで)
対 象	未就学児は保護者同伴
定 員	先着100人
費 用	300円(材料費)
内 容	切り抜いた紙型で布にプリントして動物柄の手ぬぐいを作ります。象と白牛の薬を作ったという川崎平右衛門の没後250年にちなんだ企画です。
講 師	林瑠璃(テキスタイルデザイナー)ほか
参加方法	当日直接会場へ(創作室)

### 象と白牛の物語とは？

府中市にはこんな昔話があります。江戸時代の半ばごろ、押立村に川崎平右衛門(かわさきへいえもん)という名主がいました。川崎は、当時珍しいベトナムから日本へやってきた象や白い牛の糞で薬を作り、幕府の許可を得て「象洞」「白牛洞」として発売しました。象や白牛は神聖なものとして特別な力があると考えられていたのです。この薬は、皮膚の病気に効くとされ、世間の評判を呼ぶことになりました。将軍徳川吉宗による「享保の改革」が進められていた時代です。創意工夫に長けた川崎は、農民のために尽くし、名奉行とうたわれた大岡越前守らの知るところとなり、幕府に取り立てられ、新田の開発など数々の手柄を立てたといわれています。今年はその川崎平右衛門没後250年にあたります。

\*通常プログラム・トークプログラムはお休みです。

#### お申込み・お問合せ

府中市美術館 教育普及担当

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3

TEL.042-336-4856 FAX.042-335-7576

E-mail: bijyutu01@city.fuchu.tokyo.jp